

誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業

令和4年度予算額 60,000千円
(前年度予算額 60,000千円)



地域のスポーツ施設の老朽化、財政の制約、人口減少・高齢化による住民ニーズの変化等がある中、持続可能な地域におけるスポーツ環境を確保・充実していくため、公立スポーツ施設だけでなく、学校体育施設・民間スポーツ施設など既存ストックのフル活用、スポーツ施設のユニバーサルデザイン化の推進等を総合的に実施し、地域において誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくりを推進する。

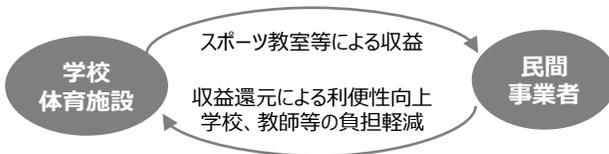
<事業内容>

① 学校体育施設の有効活用推進事業 【継続】

「学校体育施設の有効活用に関する手引き」を踏まえ、**モデルとなる先進事例の形成**を行い、学校体育施設を地域のスポーツの場として有効活用する取組を推進する。

<モデル事業のイメージ>

- ・一定の収益活動の導入と収益還元による事業の持続性向上
- ・デジタル技術の活用による利便性向上、学校等の負担軽減
- ・体育館・校庭に加え、プール・テニスコート・武道館の開放促進



② スポーツ施設におけるユニバーサルデザイン化等推進事業【新規】

年齢や性別、能力等に関係なく施設でスポーツを行いやすくするユニバーサルデザイン化を推進するため、ハード・ソフト両面において配慮すべき事項や取組事例を収集整理し、**ガイドブックに取りまとめるとともに、セミナー等による普及啓発**等を行い、現場での対策を促進する。

<取組事例のイメージ>

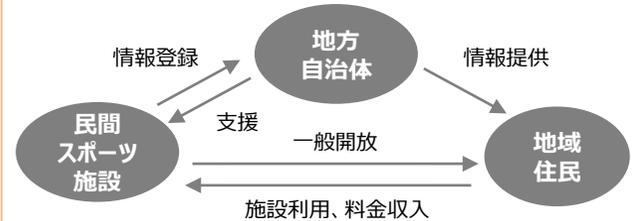
- ・ハード面の更新・改修（更衣室、授乳室、観客席等）
- ・ソフト面の施設管理者の対応（障害者スポーツの支援等）



③ 民間スポーツ施設の公共的活用推進事業 【継続】

民間スポーツ施設※を地域のスポーツの場として公共的活用する方策を検討するため、**実態調査やモデル事業のケーススタディ**を実施する。

<公共的活用のイメージ>



※個人所有の町道場や球技場、企業所有の福利厚生施設を想定

<スポーツスペース・ボーダレスプロジェクトの全体概要> ※赤字は、本予算関係

スポーツ施設の中長期的な計画の策定促進

- 全体最適を踏まえた**個別施設計画の内容充実**、当該計画に基づく集約・複合化等の推進
- ハード支援における個別施設計画策定の要件化

スポーツ施設の**安全・安心**の確保

- 避難所等となるスポーツ施設の耐震化・長寿命化対策の推進
- スポーツ施設の老朽化等に伴う事故の防止対策の徹底

スポーツ施設の**快適性・利便性**向上

- **ハード・ソフト両面でのユニバーサルデザイン化の推進**
- 民間の資金・ノウハウも活用したスポーツ施設の魅力向上の促進

あらゆる空間でのスポーツ環境創出

- **放課後や休日の学校体育施設の有効活用の推進**
- **民間スポーツ施設の公共的活用**
- 公園等のオープンスペースの活用

スポーツの場における**DX化**の推進

- デジタル技術やデータ活用による新しいスポーツの楽しみ方の推進
- スポーツの場、イベント等の情報に関するスポーツポータルサイトの開設